

おかげさまで10周年

~8月でインターネット事業10周年になります~

インターリンクは実は老舗です

当社は1995年8月にインターネットプロバイダー業務をはじめました。

Yahoo!BBは5年ですし、その他の大手もほとんど当社より後発です。

連載 中村和彦紹介

実は、1995年頃より2000年位まで、「連載 中村和彦紹介」という駄文をインターネット上で書いていました。

ある意味では社長メッセージの原型と呼んでもいいかもしれません。

大変お恥ずかしいのですが、今回はその中から1つだけ紹介させていただきます。

このエッセイは、友人の売れない作家、中村和彦を紹介するというものですが、実際には紹介、というより、単なるエッセイになっています。

文中のULTRA HEAVENは、10年前、インターリンクでインターネットラジオとして放送していたもので、現在はサービスしていません。

連載「中村和彦紹介 第2回 マルチメディアな人」

中村が名刺を作った。

マルチメディアなWriter、という肩書きだった。

笑った。

中村はインターネット上で音楽番組を作っている。月刊ULTRA HEAVENという番組で、私は毎月楽しみにしている。これは友人だから言うのだが、面白い。

音だけ、という不自由な表現が、反って視聴者の想像をかきたて、感情移入しやすくする。ラジオ番組の良い作品はみなそうである。文学などは文字だけの表現で、読者を引きずり込む。失楽園が映像化されているが、原作に及ばないのは言うまでもない。

確か「おそ松くん」だったと思うが、テレビで放映された途端、視聴者から「チビ太の声が違う」というクレームが多数寄せられたそうである。「チビ太」の声など、誰も聞いたことがないのに。

中村はULTRA HEAVENを作っていることから、自分をマルチメディアな、と表現したわけだが、この2年位ずれた表現がなんとも微笑ましい。流行に1年乗り遅れるのはとてもカッコ悪いものだが、2年ずれると、それがその人の信念に見えてくるというか、何やら、流行という本来やわらかいものが硬くなっていっているのが、おかしい。

中村は以前、何度かコンピュータにチャレンジしてあえなく敗退している。中村を撃退したのは国産機NECのPC98シリーズである。

もう、これでだめだったらコンピュータとは無縁な人になろうとして選んだのがMacだった。Macは中村に優しくかった。初めてコンピュータに優しくされた中村はその後、爆弾マークが出ようが、システムが意味不明の不具合を起こそうが、Macと別れようとしなかった。その粘り強さが今日の「マルチメディアな」中村和彦を作ったのである。